

# 射出成形の生産性向上

## プラモール精工



プラスチック成形の生産性を上げる方法を語る脇山社長

射出成形を手がける企業にとって悩みの種である成形不良。工作機械や成形機の高精度化、I-O-T(モノのインターネット)や人工知能(AI)の導入が進んでも完全には解決できない。プラモール精工は、発想の転換により射出成形の生産性向上を実現した。同社が掲げる『無停止成形』とは、脇山高志社長に話を聞いた。

—成形不良が起こる原因は。

「成形条件を変えて

いないのに品質不良が発生するのは、金型内の圧力上昇が原因であることが多い。成形機のシリンダー内では樹

脂が溶ける際にガスが発生する。このガスが金型に設けたベントをふさぐと排気できなくなり、徐々に内部の圧力が上がる。内圧上昇は樹脂の充填を妨げ、成形品に欠けなどの不具合が起きる

—社内ではどう対策していましたか。

「以前は作業者が一定時間ごとに機械を止め成形品の品質を確認し、異常がある場合は成形条件を調整して

—その状況から、どのように生産性向上を実現させましたか。

「金型設計時からべ

ントの形状や數を図面に盛り込み、社内の生産性の高い金型を参

# 金型の内圧上昇抑制

## 無停止成形を実

